



∞ 関屋っ子の可能性は無限大 ∞

令和 8 年 7 月 1 7 日号

関 屋 小 だ よ り

校長 佐藤 幸代

健康で明るい子

進んで行動できる子

よく考える子

関小おそうじ隊がんばりました

昨年改修工事できれいになった北館でしたが、壁に靴のあとや、鉛筆の線のような跡がついて汚れていました。昨年の2学期はピカピカの美しい校舎だったのに、残念に思っていました。今回、美化指導の先生方の提案で、「関小おそうじ隊」のボランティアを募ったところ、**150人以上**の人がおそうじ隊に立候補し、休み時間を使って壁の汚れをとってくれました。参加した子たちの中には手作りのハチマキをして、大張り切りで参加してくれた人たちもいました。自分たちの学校をきれいにしようと協力してくれたみなさん、本当にありがとうございます！これから大切なことは、今後汚さない！靴でかべをけらない！よごれた手でさわらない！ということです。夏休みには南館の2階もきれいになります。みんなできれいな校舎を維持していきましょう！



班旗が新しくなりました。

登下校の際に班長さんが使う班旗を新しくしました。班旗は、黄色いのでとても目立ちます。車に見つけてもらいやすいので、登下校の安全を守るための大事な道具です。新しい班旗を大切に使ってください。そして安全な登下校をみんなで協力していきましょう。



手のひらより大きいタイタンピカス

七夕の願い事が叶いますように

7月7日は七夕。七夕祭りは何時代から続いているか知っていますか？その歴史はとても古く、日本にもともとあった棚機（たなばた）の行事と、中国から伝わったお話が結びつき、平安時代には貴族たちの間でお祭りをしていたという記録が残っています。1000年以上も受け継がれてきた大切な行事なのですね。

関屋小学校にも1年生の教室の前に立派な笹が飾られています。コミュニティのみなさんが、ご自分の山から笹を切り出して持ってきてくださいました。この笹に、願い事を書いて飾っているのですが、「世界平和を願います」と書いてくれた3年生の子が、「沖縄慰霊の日の中学生のスピーチを聞いてとても心に残ったから。」とお話してくれました。周りでその話を聞いていた子たちも、自分たちも書こう、と言って何人もの子が「世界平和」を短冊に書いてくれました。

「曾祖母が空襲の中、生きたい、死にたくない、と懸命に走った。生きることを諦めずに生き延びてくれたから、今の私がいる。曾祖母の右足の傷はただの傷じゃない『生きたい』と強く願った証『戦争は二度としてはいけない』という叫び」沖縄慰霊の日の中学生のスピーチの一部です。このスピーチを聞いた1人の関屋っ子の「世界平和」を願う気持ちが、周りの子たちに広がっていくことに、私はとても感動しました。夏休みは、原爆が落とされた日、終戦の日など、戦争と平和について考える日があります。

今の平和を大切に、世界平和を祈る日にしたいと思います。

星に願いを



関屋っ子のみなさん、一学期大変よくがんばりました。楽しい夏休みを過ごしてくださいね。

9月1日みなさんの元気な笑顔に会えるのを楽しみにしています。